



令和8年 1月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

園長 東 美和

～子どもとつくる運動遊び～

新年明けましておめでとうございます。本年も子どもたちが充実した日々を過ごせますよう、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今年の干支は午年（うまどし）、そして60年に一度の丙午（ひのえうま）の年になります。午年は『広い野を駆け回る馬のように、外へ向かって新しいことを挑戦するのに良い時期』であり、そこに丙午という年は『火』の力が重なり、情熱と勢いがあるパワフルな年とも言われています。このエネルギーを活かし、子どもたちが積極的にチャレンジすることで大きく成長する一年となるよう、努めてまいりたいと思います。

先月、東京女子体育大学こどもスポーツ教育学科講師の堀内亮輔先生の指導のもと、園内研究会を行いました。本園で進めている足育は『子どもの足に負担がかからない靴を、正しい靴の履き方で履く』ということの基本とし、子どもたちが進んで戸外で遊んだり、多様な体の動きを経験したりして、体を動かす楽しさを味わえるようにすることを大切にしています。そこで本園では『心と体を十分に動かし、意欲的に遊びに取り組む子どもを育てるため』の運動遊びの援助と環境の工夫について、園内研究に取り組んでいます。

皆さんは運動遊びで『体を動かす』だけではなく『心を動かす』とは、ということだと思いますか？堀内先生からは子どもとつくる運動遊びの実践の可能性についてのご指導をいただきました。例えばいろいろな動物に変身して動く運動遊びを提案した時「どんな動物に変身する？」と子どもたちに聞くと「ペンギン！」「ライオン！」と次々に答え、自分たちで考えた動物の動きを楽しむ姿が見られました。ルールのある運動遊びでは「もっと他にどんなやり方があるかな？」と子どもたちに投げかけることで、自分たちで新しいルールを考えるおもしろさを味わっていました。出会ったばかりの堀内先生に、自分たちの考えを「楽しいね！」と受け止められ、笑顔で体を動かしている子どもたちは、心も動かしていたと感じます。

3学期は寒い日が続くことでしょう。その中でも子どもたちと運動遊びをつくり、心も体も動かす楽しさを感じられるよう、3月までの日々を大切に過ごしていきたいと思っています。



正月明け、池に雪が残り凍っていました



なかよし門の前にはサザンカが咲いています



星の組の育てているダイコン収穫が楽しみです♪